

年間第 24 主日 (マルコ 8:27-35)

ためらわずに信仰を表しつつイエスへの心は柔軟に



言いにくいことを誰かが言ってあげる。そういう時があります。その場合、誰が言うのかですが、その場を代表する人が発言することになるでしょう。その中には、「年長者」という人々もいると思います。

中田神父は、下五島地区では二つの立場でその場を代表する人です。「年長者」と「地区長」です。たまたま年齢的にも、下五島地区で私がいちばん年上の司祭です。そして地区長です。何か発言を求められると、私に回ってくる場合があります。

「年長者」という意味では、敬老者のお祝いを受ける対象の方は、本日のミサを代表する人かも知れません。信仰の点で年長者の方に「何か意見をください」とお願いされたとき、それは機会を与えられたのだと思って引き受けてくれたらありがたいです。

今日、福音朗読でペトロが信仰を表す場面が朗読されました。ペトロはおそらく、弟子たちの中で年長者だったと思います。弟子たちはイエス様から「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか」(8・29)と問われたとき、何かの考えを持っていたでしょう。しかし、自分の考えが本当に十分な答えかどうか、自信が無かったのでしょうか。

そこへ、ペトロが進んで返事をしました。ペトロは、自分は年長者だから、「言わないで済むなら黙っていよう」という考えではいけないと考えたと思います。自分が、弟子たちを代表して答える必要がある。そういう気持ちがあったのだと思います。

年長者が、「ここは私が」と考える理由は何でしょうか。自分の意見は長年の経験から来ているから立派な受け答えができるからでしょうか。そうではなく、私の想像ですが、何かをためらうような年齢でなくなったからではないでしょうか。それぞれの立場で、もう折り返しを過ぎているから、自分の言葉に責任を持つのもそう長くはない。だから「ここは私が答えよう」と考えるのではないのでしょうか。

「これを言ったら、この後の長い人生に重荷になるのではなかろうか。」という、余計な考えにとらわれなくて、言うべきことが言えるのは年長者のすばらしい点です。ミサに参加している方々でためらわない年齢になった皆さん、ぜひこれからも教会のために、言っておきたいことは聞かせてほしいと思います。もし、「こういう形でお伝えしたい」ということがあれば、それも教えてほしいと思います。

ただし、一つだけ忘れてはいけないことがあります。「一寸先は闇」という諺を知っている、理解している皆さんだからこそですが、イエス様はその「一寸先」を歩いておられる方、知っておられる方です。イエスが打ち明けること、教えることは、私たちが決して理解できない「一寸先のこと」だと受けとめましょう。ですからイエスはいつも、正しい答えを持っておられ、私たちに正しい道を示してくださるのです。

私たちは「一寸先」が分からないにもかかわらず、イエスが示され

る道に不平不満をぶつけてしまいます。「なぜこういう結論になるのですか？納得できません。」ペトロも、イエス様の死と復活の予告に同意できませんでした。

そこでお願いです。頑なになりがちな私の頭と心を、敬老の日を迎えるこの時期、イエス様に柔軟にしてくださいませ。私の頭と心は年々頑なになっていきます。「一寸先」「五分先」すら読めなくなってきました。そんな中、イエス様はつねに私たちの一歩先、半歩先を歩いておられる。そのことを信じて、自分を委ねていきたいと思えます。

もはや、何かを言うのにためらうような年齢ではない方々。言いたいことをはっきり述べて、同時にイエスの前では柔軟な人となりましょう。その姿を毎年見せてくださることが、敬老者の皆さんの毎年の目標だと思います。

◆ペトロ、信仰を言い表す

8:27 イエスは、弟子たちとフィリポ・カイサリア地方の方々の村にお出かけになった。その途中、弟子たちに、「人々は、わたしのことを何者だと言っているか」と言われた。

8:28 弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と言っています。ほかに、『エリヤだ』と言う人も、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」

8:29 そこでイエスがお尋ねになった。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」

8:30 するとイエスは、御自分のことをだれにも話さないようにと弟子たちを戒められた。

◆イエス、死と復活を予告する

8:31 それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日の後に復活することになっている、と弟子たちに教え始められた。

8:32 しかも、そのことをはっきりとお話しになった。すると、ペトロはイエスをわきへお連れして、いさめ始めた。

8:33 イエスは振り返って、弟子たちを見ながら、ペトロを叱って言われた。「サタン、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている。」

8:34 それから、群衆を弟子たちと共に呼び寄せて言われた。「わたしの後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」

8:35 自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのため、また福音のために命を失う者は、それを救うのである。